

21世紀カップ京急沿線少年野球大会 競技規則 (2026年1月10日改定)

令和8年での全軟連ルール改正が下記以外にあった場合、修正を行います。

1日70球以内(4年生以下は60球以内)に加えて1週間の投球数を210球以内(4年生以下は180球以内)といたします。

※但し、週間の確認は困難な為、それぞれのチームのモラルにお任せします。

■6年生大会

1. 試合は6回戦、90分とする。
2. 90分を過ぎたら新しい回には入らない。
3. 6回または90分を経過して同点の場合は、タイブレークとする。※決勝は6回終了し、同点の場合。
【タイブレーク】
 - ・ノーアウト1・2塁、打順は継続打順、ランナーは前の回の最終バッター(1塁)、その前のバッター(2塁)
 - ・タイブレーク初回のみ選手の交代を認める
 - ・以降はグラウンド内の選手のみ交代を認める
 - ・タイブレークは決着がつくまで継続
4. 投手の投球数は70球までとする。70球目の打者の打撃完了にて交代。
※チームの自主管理に任せる。明らかな違反の場合は、事務局に報告。事務局より注意を行う。
※明らかな違反とは...80球を超える投球数等(数え間違い等での誤差の範囲外)
5. コールドゲームは3回10点差、5回以降7点差とする。
また、降雨等での途中終了は4回裏終了時にてゲーム成立とする。
※それ以前はノーゲーム、再試合とする。
※決勝戦のみ時間制限・コールドなしの6回制。
6. 抽選番号及び、トーナメント表上段を若番とし、グラウンド提供、ベンチは1塁側とする。
7. 審判は原則的に、当該にて行う。
(基本的にグラウンド提供していないチームが主審を行う。主審はできる限り公認審判とする。)
(不明瞭な事案があった際は、審判で協議をし、解決を行う事。最終決定権は主審とする。)
8. ボーク、インフィールドフライ、ともにあり。
9. 投手・本塁間16m、塁間23m。

■新人戦大会

1. 選手登録は5年生以下とする。※男子、女子での選手登録、出場における例外は認めない。
- その他、上記6年生大会と同様。

■ひまわり大会

1. 試合は5回戦、80分、決勝戦は5回戦、時間無制限とする。
2. 80分を過ぎたら新しい回には入らない。
3. 5回または80分を経過して同点の場合は、タイブレークとする。
※決勝は5回終了し、同点の場合。
【タイブレーク】
 - ・ノーアウト1・2塁、打順は継続打順、ランナーは前の回の最終バッター(1塁)、その前のバッター(2塁)
 - ・タイブレーク初回のみ選手の交代を認める。以降はグラウンド内の選手のみ交代を認める
 - ・タイブレークは決着がつくまで継続
4. 投手の投球数は60球までとする。60球目の打者の打撃完了にて交代。
※チームの自主管理に任せますが、明らかな違反の場合は、事務局より注意を行う。
※明らかな違反とは...70球を超える投球数等

5. 予選（敗者復活戦を含む）は3アウトまたは打者一巡交代の京急ルール採用。
※打者一巡交代は直前のアウトカウントにかかわらず、9人目の打者の打撃行為が完了した時点で交代。
6. 抽選番号及び、トーナメント表上段を若番とし、グラウンド提供、ベンチは1塁側とする。
7. 審判は原則的に、当該にて行う。
（基本的にグラウンド提供していないチームが主審を行う。主審はできる限り公認審判とする。）
（不明瞭な事案があった際は、審判で協議をし、解決を行う事。最終決定権は主審とする。）
8. 審判は原則的に、当該にて行う。
（基本的にグラウンド提供していないチームが主審を行う。主審はできる限り公認審判とする。）
9. 予選、決勝について、ボーク、インフィールドフライ、ともになし。
※ボークは基本的に注意とするが、全く改善が見られない場合は交代すること。
10. 投手・本塁間14m、塁間21m
11. 男子、女子選手での例外は認めない。※6、5年生女子の参加等

■その他（各大会共通）

- ・各大会、基本的に最大42チーム。チーム数が奇数の場合、最終申込みチームは決勝Tから参加。参加費半額とする。
- ・試合開始30分前集合厳守のこと。
各大会共通で、連絡及び、相手の合意無く、試合開始30分前に到着していないチームは失格とする。
※決勝については、やむを得ない事情を除き、集合厳守、遅刻を認めない。
- ・6年生大会、新人戦大会は、決勝トーナメントが開始されたら、監督・コーチ変更、追加選手の登録は受け付けない。
※予選、敗者戦締切日まで。
※ひまわり大会については、事務局、相手チームの許可を得た場合は、新入団選手の登録を可能とする。
- ・試合当日のベンチ入りの選手は10名以上とする。
※ただし、試合当日病気等により10名以下となった場合、試合開始前に事務局、相手チームへ連絡し、双方が認めた場合は試合可能とする。
※基本的に、登録外選手の出場等が認められた場合は、事務局に報告し、不戦敗扱いとする。
- ・ベンチ入りについては、指導者、スコアラー等6名 + 給水担当（2名まで）
※その他、何か変更があった場合は、相手チームに報告し、競技すること。
- ・各大会の予選および指定された試合において、試合日時・会場の調整は当該チーム間で責任を持って行う。
※予選、決勝T、各締切日を守れない場合は、原則的に両チーム敗戦とする。事務局は一切試合調整を行わない。
- ・各グラウンドルールについては、事前の説明をした上、提供チームの指示に従うこと。
※駐車場案内も含む
- ・インニング間の投球練習の際、キャッチャーは（正・控えともに）マスクとヘルメットを着用すること。
ただし、立ったまま捕球は着用しなくても可とする。
- ・ボールボーイはヘルメットを着用すること。
- ・試合終了後、勝利チームが大会事務局にメールにて結果を送信。スコアボードの画像を添付すること。
- ・合同チームにおいては、大会開始前申請及び本部承認の元、ひまわり大会のみ許可する。途中からの合同は認めない。
- ・登録される選手、育成者はスポーツ保険に加入していること。
※負傷及び不測の事態について事務局は一切の責を負いかねます。
- ・バッティンググローブ、走者およびベースコーチのグラコン他の着用を認める。
- ・川崎市と横須賀市等の試合会場により、スパイク使用が禁止の場合あり。
事前確認のうえ指示に従う。（試合会場確保のため、ご理解をお願いします。）
- ・上記記載事項以外については、大会事務局、関係者にて協議の上、判断を行うとともに、全軟連の規則に準じる。
※野球規則は2025年版に準拠する。